

みよし市の食育推進に関する取り組み状況について

基本目標	基本施策	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	実施内容等			
							①H26年度実績	②H27年度計画	今後の事業の方向性	方向性で「その他」を選択した場合、その具体的な内容
1 (人づくり)	①食の正しい知識を身に付け、食に対する感謝の心を育てます	すくすく教室(離乳食教室)	子どもの成長に合わせた離乳食(作り方、食べさせ方)について理解してもらう	離乳食時期の子どもの成長と離乳食についての講話と試食、個別相談を実施する	健康推進課	生後7か月児	毎月1回教室を開催。160人参加。	毎月1回教室を開催予定。	継続	
		園だよりへの食育記事の掲載・配布	食の大切さを伝えて関心を高める	行事予定の中に食育だよりを掲載し、規則正しい生活習慣や朝食を取る意義などを伝える	保育園幼稚園	園児	毎月園だよりで栄養士により掲載。	毎月園だよりで栄養士により掲載。	継続	
		園児の食育指導計画の作成	保育園における食育のあり方を見直す	保育園に求められる食育指導計画書の作成と実践を行う	保育園	園児	昨年度の反省を生かし、4月に年間計画書を作成。それに基づき指導を実施。	昨年度の反省を生かし、4月に年間計画書を作成。それに基づき指導を実施。	継続	
		園児への食生活指導	食べることの基本的な知識を身に付ける	絵カードを利用して食べ物の種類や栄養素の働きを知らせたり、食に関した歌を歌ったりする	保育園幼稚園	園児	毎日ランチタイムニュースと称して給食時間に放送で全園児対象に栄養士による昼食のメニューの説明や栄養素の働きを指導。	毎日ランチタイムニュースと称して給食時間に放送で全園児対象に栄養士による昼食のメニューの説明や栄養素の働きを指導。27年度からキャラクターを作り更に充実を図る。	充実	
		食作法	集団での食事、食事作法の教育を通し、食べることへの感謝、家族への感謝の気持ちを養う	食の正しい知識と、食に対する感謝の教育に関すること	幼稚園	園児	年長児対象に食の正しい知識 正しい食べ方 食に対する感謝の教育を指導。	年長児対象に食の正しい知識 正しい食べ方 食に対する感謝の教育を指導。	継続	
		5ADAYたべるのおはなし教室	地域のスーパーマーケットを食育の場として野菜や果物に触れながら興味関心を高め、子ども達が進んで食べようとする気持ちを育てる	正しい食生活について、三色食品群の講話や実際に売り場に行き野菜を見ながら学習する	幼稚園	園児	イオン三好店で、1月・3月に実施。(三好文化幼稚園)	イオン三好店に実施依頼予定。(三好文化幼稚園)	継続	
		わんぱく教室	年齢にあった食生活の指導や生活リズムの大切さを教える	2歳児とその保護者を対象に食に関する講話や栄養指導を行う	健康推進課	2歳児と保護者	年6回(隔月)教室を開催。69組参加。	年6回(隔月)開催予定。	継続	
		地産地消料理教室	季節の野菜の加工法を学び次世代に伝える	地元産の旬の野菜の料理を歳時記にそって学ぶ	JAあいち豊田三好女性部	幼児、小学生と保護者	夏休みを利用して親子孫3世代で地産地消料理(おこしもん)を実施。	H26と同様に、夏休み、冬休みを利用して3世代で地産地消料理を実施予定。	継続	
		いきいき子育て講座	親子で食物作りを通し「食育」の大切さを学ぶ	親子で食物作り等を通し、食が出来る喜びと食の大切さなどを学ぶ	幼稚園	園児と保護者	農園等で育てた野菜を園児と共に調理し食に対する意欲を高めた。	農園等で育てた野菜を園児と共に調理し食に対する意欲を高める。	継続	
		子どもの料理教室「わくわくからだ探検隊」	調理実習や講話等を通して自身の体についての興味と関心をもたせる	小学生を対象に調理実習や正しい生活習慣の講話、ブラッシング指導を行う	健康推進課	小学生	7月、8月に3回開催。49人参加。	7月に3回開催予定。	継続	
子どもたちの朝ごはん喫食状況の聞き取り調査	子どもの発達に重要な朝食の大切さを知らせる	朝食を食べたか、だれと食べているか、朝食の内容について何をどれくらい食べているかを把握する	保育園幼稚園小中学校	園児小中学生	学力・学習状況調査により、市内の小学校6年生と中学校3年生の朝食の喫食状況を把握。(小中学校)園だよりで栄養士から食育便りとして朝食の大切さの啓蒙。	学力・学習状況調査により、市内の小学校6年生と中学校3年生の朝食の喫食状況を把握。(小中学校)園だよりで栄養士から食育便りとして朝食の大切さの啓蒙。	継続			
「いただきます」「ごちそうさま」あいさつ運動	あいさつは食に対する感謝の気持ちの言葉であることを伝える	給食時にあいさつや感謝の大切さを指導する	保育園幼稚園小中学校	園児小中学生	通年で日常的にあいさつ運動の実施。年齢に合った挨拶の言葉を変えて日常的に指導。	通年で日常的にあいさつ運動の実施。年齢に合った挨拶の言葉を変えて日常的に指導。	継続			

基本目標	基本施策	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	実施内容等			
							①H26年度実績	②H27年度計画	今後の事業の方向性	方向性で「その他」を選択した場合、その具体的な内容
1 (人づくり)	①食の正しい知識を身に付け、食に対する感謝の心を育てます	残菜の減量指導	食の大切さや感謝の気持ちをもたせる	残菜をなくすため、食に関する絵本や図鑑などを通して理解させる	保育園 幼稚園 小中学校	園児 小中学生	通年、日常的に指導を実施。 栄養士の指導により 月ごとに残食の少なかったクラスを表彰。	通年、食の大切さや感謝の気持ちをもたせる指導を実施。 栄養士の指導により 月ごとに残食の少なかったクラスを表彰。	充実	本年度よりキャラクターを作った。
		家庭科での食育授業	食育授業を通して食の大切さや楽しさを学ぶ	授業で料理を作りながら食育教育を行う	小中学校	小中学生	各学校の年間指導計画に位置づけて食育授業を実施。	各学校の年間指導計画に位置づけて食育授業を実施。	継続	
		生産現場の訪問学習	生産者に対する感謝の気持ちをはぐくむ	農畜産物の生産者の現場を訪問し、農作業等の体験学習などを行う	小中学校	小中学生	各学校の年間指導計画に位置づけて農業体験を実施。	各学校の年間指導計画に位置づけて農業体験を実施。	継続	
		パパママ教室	妊婦への食生活指導を行う	食事バランスガイド等を活用した栄養指導や調理実習を行う	健康推進課	妊婦	年4回教室を開催(マタニティーコース)。45人(夫を含む)参加。	年4回教室を開催予定(マタニティーコース)。	継続	
		消費生活講演会	食と健康についての知識や関心を高める	食生活や健康に関する講演会を開催する	産業課	市民等	平成26年10月16日消費生活講演会「楽しく食べて健康に！」の開催。(講師:キュービー株式会社 研究所 農学博士 犬飼進)受講者数45名。	未定	その他	食生活や健康を含む消費生活に関するテーマを受講者の希望を広く捉えられるよう実施していく。
		保護者勉強会・懇談会	家庭での食生活における相談や指導により、食べることの楽しさや大切さを知らせる	栄養士、保育士による偏食の工夫や対応方法について、グループ、個人の状況に合わせて指導する	通園ルーム	園児の保護者	保護者からの問い合わせ、要望により実施。健康推進課栄養士さんによる親子通園保護者向けの勉強会の実施。 アレルギー対応者事前説明会実施。	保護者からの問い合わせ、要望により実施予定。健康推進課栄養士さんによる親子通園保護者向けの勉強会を実施予定。 アレルギー対応者事前説明会実施予定。	継続	
		保護者との食に関する相談	食べることの基本的な知識と常識的な営みを伝える	家庭と連携をとって食事指導を実施する	保育園 幼稚園	園児の保護者	担任及び栄養士により随時保護者の相談を受ける。 アレルギー対応による給食の提供。	担任及び栄養士により随時保護者の相談を受ける。 アレルギー対応による給食の提供。	継続	
		食育講演会	子どもの保護者に食の大切さの啓発と知識向上を図る	食育に関する講師を招き保護者を対象とした食育の講演会を開催する	保育園 幼稚園 中学校PTA 教育行政課	園児、 中学生 の保護者	いきいき子育て講演会平成26年7月3日(まこと第二幼稚園)「子どもの偏食や小食を考える」(講師 管理栄養士 広瀬輝美)の開催。 平成27年2月7日入園者に向けた講演会「楽しく食べる食育で子どもが伸びる」(講師名古屋短期大学小川雄二教授)の開催。 平成27年2月25日保護者講習会KAKUサテライトクッキング主催「和の献立、取り入れてますか？」講演及び「食事が楽しくなる新メニュー」料理実習の開催。(三好文化幼稚園)	同様に講習会、講演会を実施予定。(三好文化幼稚園)	継続	
家庭教育学級の開催	食育に関する学習を推進する	食育の学習の一環として給食の出来上がる過程や栄養バランス、料理の工夫等を学ぶ	小学校PTA 教育行政課	小学生の保護者	【社会見学】 ・北部小 みそばーく・抹茶あいや ・天王小 手づくり工房 山遊里 ・三吉小 給食センター ・三好丘小 七福酒造・おとうふ市場 ・黒笹小 給食センター 【料理教室】 ・北部小 ・南部小 ・天王小 ・三好丘小	各学校にて社会見学・料理教室などを開催予定。	継続			

基本目標	基本施策	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	実施内容等			
							①H26年度実績	②H27年度計画	今後の事業の方向性	方向性で「その他」を選択した場合、その具体的な内容
1 (人づくり)	① 食の正しい感謝の知識を身に付け、食	60歳からの栄養・健康教室	食と健康についての知識や関心を高める	高齢者向けの食と健康に関する講座を開催する	健康推進課	市民等	6月、8月、10・11月に2回コースの教室を3クール開催。延べ85人参加。	6月、8月、10月に2回コースの教室を3クール開催予定。	継続	
		食生活改善推進協議会活動	健康な食生活の推進と日本食のよさの啓発等を行う	食事バランスガイド等を活用した調理実習や栄養教室等を行う	食生活改善推進協議会健康推進課	市民等	年間を通じ、調理実習や栄養教室を実施。	年間を通じ、調理実習や栄養教室を実施。	継続	
	② 楽しい食事の場づくりの大切さを伝えます	給食を楽しむ環境づくり	みんなで食事する楽しさを五感を通して感じられるようにする	楽しい食事環境づくりとしてBGM、テーブルクロス、花、バイキング方式などの演出や工夫をする	保育園幼稚園	園児	<ul style="list-style-type: none"> 当番活動や料理づくり、給食交流会の実施、園庭での食事を実施。 各クラス内の当番活動や 年長児が年少児のクラスに入り 自分たちが食作法で学んだマナーを指導 当番活動や異年齢児との給食交流会の実施、また年長児が卒園前に園長先生とのお食事会を数人ずつで実施。 年長組クラス代表に給食室へ当日の献立の味見当番の実施。 手巻き寿司ランチパーティ恵方巻き作り実施。(三好文化幼稚園) 	<ul style="list-style-type: none"> 当番活動や料理づくり、給食交流会の実施、園庭での食事を実施予定。 各クラス内の当番活動や 年長児が年少児のクラスに入り 自分たちが食作法で学んだマナーを指導。 当番活動や異年齢児との給食交流会の実施、年長児が卒園前に園長先生とのお食事会を数人ずつで実施予定。 年長組クラス代表に給食室へ当日の献立の味見当番実施予定。 手巻き寿司ランチパーティ恵方巻き作り実施予定。(三好文化幼稚園) 	継続	
		親子料理づくり	食物の大切さと親子で一緒に作る楽しさを伝える	園と父母の会、園児とで調理し食する	保育園幼稚園生涯学習課	園児、小学生と保護者	<ul style="list-style-type: none"> 餅つき会を実施。 十五夜のお団子作りを実施。 祖父母を招いてのおこしもの作りの実施。 収穫した野菜(じゃがいも、たまねぎ、人参、大根)とレシピを持ち帰り各家庭で実施していただくように依頼し、またすりばち・すりこぎを冬休みプレゼントとして持ち帰った。(三好文化幼稚園) 親子でケーキ作りを実施。 サマースクールで親子パン作り講座「1日パン工房①②」をそれぞれ開催。 ①7月31日(木)、②8月6日(水) 	<ul style="list-style-type: none"> 餅つき会を実施予定。 十五夜のお団子作りを実施予定。 収穫した野菜(じゃがいも、たまねぎ、人参、大根)とレシピを持ち帰り各家庭で実施していただくように依頼予定、またすりばち・すりこぎを冬休みプレゼントとして持ち帰ってもらう。(三好文化幼稚園) 親子でケーキ作りを実施予定。 サマースクールで親子で「スムージー作り」「給食の人気メニューを作ろう」「そば打ち」の3講座を開催予定。 	継続	
		給食献立表を通してコミュニケーションの呼びかけ	家庭でのコミュニケーションを推進する	献立表に「学校給食の献立から」と題し、家庭で料理を作る呼びかけを掲載する	学校給食センター	小中学生と保護者	献立表に「給食の献立を作ってみよう」と題し、当月のレシピを掲載。	献立表に「給食の献立を作ってみよう」と題し、当月のレシピを掲載。	継続	
		家庭への啓発活動	園だより、学校だよりなどにより食の楽しい場づくりを伝える	各家庭へ食育に係るたよりを発行する	保育園幼稚園小中学校	園児、小中学生の保護者	<ul style="list-style-type: none"> 栄養士による 食育だよりを毎月実施。 栄養教諭による食育だよりを随時発行。 	<ul style="list-style-type: none"> 栄養士による 食育だよりを毎月実施。 栄養教諭による食育だよりを随時発行。 	充実	
		ノー残業家族夕食デーの啓発	家族そろって夕食を楽しむ	残業時間を短縮して、家族と一緒に食事をする機会を増やすよう啓発する	事業所産業課	市民等	<ul style="list-style-type: none"> 事業所ごとで随時おこなっている。 市役所は毎週水曜日にノー残業デーの実施。 食育月間である6月に市役所庁舎東側に懸垂幕を設置し啓発。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所ごとで随時おこなっている。 市役所は毎週水曜日にノー残業デーの実施。 食育月間である6月に市役所庁舎東側に懸垂幕を設置し啓発。 	継続	

基本目標	基本施策	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	実施内容等			
							①H26年度実績	②H27年度計画	今後の事業の方向性	方向性で「その他」を選択した場合、その具体的な内容
1 (人づくり)	③農作物の栽培や料理教室など体験型の学習と食文化の継承をすすめます	園児の野菜栽培と収穫調理体験	野菜の栽培や試食を通して食の理解を深める	園児が野菜の植付、水かけ、草取り、収穫を行い、調理して試食する	保育園 幼稚園	園児	さつま芋の栽培、収穫体験 焼き芋会を実施。 園児による野菜の栽培、収穫体験を実施。	さつま芋の栽培、収穫体験 焼き芋会を実施。 園児による野菜の栽培、収穫体験を実施。	継続	
		子どものための食育活動(親子で料理)	調理実習を通して親子で食に関わることの大切さを理解する	親子の調理実習を実施する	食生活改善推進協議会 健康推進課 生涯学習課	園児 小学生 保護者	食生活改善推進協議会が8月に楽しい親子クッキングを2回開催。12組参加。 サマースクールで親子パン作り講座「1日パン工房①②」をそれぞれ開催。 ①7月31日(木)、②8月6日(水)	食生活改善推進協議会が8月に楽しい親子クッキングを2回開催。8組参加。 サマースクールで親子で「スムージー作り」「給食の人気メニューを作ろう」「そば打ち」の3講座を開催予定。	継続	
		季節の料理作り	季節にそって食物の文化を学ぶ	時節に応じた調理実習を行い季節ごとの習慣や食材を学ぶ	幼稚園	園児	柿狩りを実施。(東山幼稚園) 季節に応じて観察、農園の野菜収穫。(三好文化幼稚園)	柿狩りを実施予定。(東山幼稚園) 季節に応じて観察、農園の野菜収穫。(三好文化幼稚園)	継続	
		農作物の栽培体験	作物の栽培の大変さや食の大切さを知る	各校の小学校1・2年生が農作物の栽培体験活動を生活科の授業の中で実施する	小学校	小学1・2年生	各学校の年間指導計画に位置づけて農産物の栽培体験を実施。	各学校の年間指導計画に位置づけて農産物の栽培体験を実施。	継続	
		バケツ稲作	食卓の食べ物に興味をもち稲作や農業への理解を促進する	小学生を対象にバケツの中に田んぼを作り一粒の種もみから稲が成長しお米にして食べるまでのプロセスを体験させる	JAあいち豊田三好営農センター	小学生	黒笹小、中部小においてJAの指導でバケツで稲作りを実施。	黒笹小、三好丘小においてJAの指導でバケツで稲作りを実施。	継続	
		みよしの伝統料理教室	みよしの伝統料理を紹介し味わってもらい後世に伝える	とりめし、おこしもん、おせち料理などをJAあいち豊田ふれあいホール、小学校、明越会館等で調理実習し試食を行う	JAあいち豊田三好女性部	市民 小学生	JA女性部講座「男の料理」でとりめしを教えた。	H26と同様にJA女性部講座にて伝統料理を教える。	継続	
		学校給食センター中学生職場体験学習	食に関する専門指導や調理体験を通して食に対する理解を深める	中学2年生の職場体験学習で、給食のできるまでの過程を実習する	学校給食センター	中学生	三好中3名の2年生を受け入れ、栄養士及び調理員等が指導を実施。	例年通り希望がある学校の受け入れを実施する。	継続	
		学校給食における郷土料理の導入推進	ふるさとの味を知り伝統料理を継承する	地域に伝わる郷土料理を地元の農産物を使用して給食に提供する	学校給食センター	小中学生	郷土料理を月に1回実施。また毎月19日の食育の日に、愛知県産の食材を使用した献立を実施し、献立表にて食材の紹介を掲載。	郷土料理を月に1回実施。また毎月19日の食育の日に、愛知県産の食材を使用した献立を実施し、献立表にて食材の紹介を掲載。	継続	
		学校給食における日本食献立の取り入れ拡充	日本食の良さを見直し、バランスのとれた食事を提供する	地元産の米(大地の風)を週4回程度使用し、ごはんを中心とした献立を展開する	学校給食センター	小中学生	地元産の米(大地の風)を週4回程度使用し、大豆を中心とした豆類、ごぼう等の日本食の食材を使用した。 献立表に日本の食文化について掲載。	地元産の米(大地の風)を週4回程度使用し、大豆を中心とした豆類、ごぼう等の日本食の食材を使用する。 献立表に日本の食文化について掲載。	継続	
小学生の農林漁業体験学習の推進	食や農林水産業に関する正しい知識を身に付けさせる	学校での農林漁業体験学習に係る地域協力者一覧に基づき、講師を派遣する	愛知県	小学生	なし。	未定。県域全体で事業の推進を図っており、今後は、豊田加茂管内の要望状況に応じて実施を検討していく。	継続			

基本目標	基本施策	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	実施内容等			
							①H26年度実績	②H27年度計画	今後の事業の方向性	方向性で「その他」を選択した場合、その具体的な内容
1 (人づくり)	③農作物の栽培や料理教室など体験型の学習と食文化の継承をすすめます	援農ネットみよし事業	持続可能な農業の実現や市民参加による農業の振興を図る	農業研修、営農相談事業を実施し、就農に向けた支援を行う	さんさんの郷	市民等	「農業ふれあいコース」: 受講者数10名 「就農者育成コース」: 2期生1年課程:受講者 4名 「就農者育成コース」: 1期生2年課程:受講者 8名 営農相談事業を実施。	「農業ふれあいコース」: 受講者数11名 「就農者育成コース」: 2期生2年課程:受講者 2名 「就農者育成コース」: 3期生1年課程:受講者 6名 営農相談事業を実施。 農機具貸付け事業開始。 (農業研修修了者対象)	継続	
		地区生涯学習講座	料理をつくる楽しさや食の大切さを知ってもらう	行政区単位で料理講座などの生涯学習講座を開催する	行政区生涯学習課	市民等	地区生涯学習活動で三好丘行政区が料理講座を開催。	未定	その他	平成28年度より地区生涯学習講座補助金の対象を行政区から発足して間もない活動団体に変更予定
		みよし悠学カレッジ食文化の会	郷土料理を学び広く伝承する	みよしの郷土料理のレシピの研究と紹介を行う	みよし悠学カレッジ食文化の会	市民等	「旬の食材で今どきレシピ!!」 講座回数:3回 延べ出席人数:44人(受講者数:16人)	「旬の食材で今どきレシピ!!」 H28.1月~3月で開催予定。	継続	
		JA食育料理教室	地元食材を利用した料理を伝える	地元でとれた旬の食材を利用した料理を試作し、レシピを産直センターで紹介する	JAあいち豊田三好女性部	JA女性部員市民	JA機関誌「家の光」誌掲載の料理のレシピを、食材を購入したJA産直センターで配布した。	H26と同様に、レシピを配布する。	継続	
		伝統料理レシピの紹介	郷土料理を広く伝承する	郷土料理レシピ本「伝えたいみよしの味」をホームページ等で紹介したり、料理講座を開催したりする	生涯学習課産業課 みよし悠学カレッジ食文化の会	市民等	みよしの生涯学習課ホームページ等で紹介。	みよしの生涯学習課ホームページ等で紹介。	継続	
		高齢者料理教室	料理実習を通じて食生活の大切さを再認識する	高齢者向けの料理教室を開催し、食習慣を見直す	生涯学習課	市民等	「男子厨房に入ろう」講座を実施。 5月~6月に4回。(16人)	「男のパン工房」講座を実施。 5月~7月。(4回)(16人)	継続	
		男性の料理教室	料理をつくる楽しさや食の大切さを知ってもらう	男性の料理教室を開催する	生涯学習課食生活改善推進協議会	市民	食生活改善推進協議会が11月に「できる男のヘルシークッキング」を開催。11人参加。 「男の台所ー基本から応用ー」講座を実施 実施日:9/13、10/11、11/8、12/13 参加者15人 実施日:1/10、1/24、2/14、2/28 参加者15人(生涯学習課)	食生活改善推進協議会が11月に「できる男のヘルシークッキング」を開催予定。 「男の台所ー基本から応用ー」 「男の台所ー応用編ー」 講座を開催予定	継続	
		アグリスクール「はぐくみの会」	野菜作りを三世代で交流しながら体験し、食農教育をすすめる	親子三世代が一緒になり、野菜の種まき、植え付けから管理、収穫、料理までを体験する	JAあいち豊田はぐくみの会	市民等	毎年の秋冬野菜に夏栽培の「さつま芋」を栽培した。	毎年の秋冬野菜に夏栽培の「さつま芋」と、「玉ねぎ」を中心に栽培する。	継続	
		野菜づくり講習会	野菜作りを通して農作物への理解を深める	野菜の栽培管理方法についての講習会を開催する	さんさんの郷	市民等	4月20日(第1回)、9月21日(第2回)、2月22日(第3回)を行い、参加者は計57名。 第1回は夏野菜(サツマイモ、キュウリ等)第2回は秋冬野菜(大根、ネギ等)、第3回は春野菜(ジャガイモ、キャベ等)が対象。	4月19日(第1回)、9月中旬(第2回)、2月中旬(第3回)を行う予定。 第1回は夏野菜(カボチャ、ピーマン等)第2回は秋冬野菜、第3回は春野菜が対象。	継続	
		市民農園	農作物の栽培体験や農業に関する情報交換、交流を行う	さんさんの郷など市民農園で自然にふれあい農作物の栽培を行う	さんさんの郷産業課	市民等	市民農園区画数440区画 利用者数260人	市民農園区画数440区画 利用者数260人	継続	
農業体験学習への支援	農業体験学習推進の支援を行う	農業体験学習を推進する団体へ助成金等の支援を行う	産業課	農業団体	みよしの農業ふるさと活性化推進協議会事業補助金で25団体に補助金を交付。	みよしの農業ふるさと活性化推進協議会事業補助金で対応予定。	継続			

基本目標	基本施策	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	実施内容等			
							①H26年度実績	②H27年度計画	今後の事業の方向性	方向性で「その他」を選択した場合、その具体的な内容
1 (人づくり)	④食育を広めるための人材育成、関係者との連携をすすめます	学校給食センター調理員、栄養士による学級訪問	生徒と調理員との会食を通して給食への関心や理解を深める	給食調理後、各学校へ出向き児童生徒と会食し、給食への思いを話し合う	学校給食センター	小中学生	全国学校給食週間(1月24日～30日)の間に、栄養士及び調理員が小中学校訪問。(北部小、三好丘小、北中、三好中)	全国学校給食週間(1月24日～30日)の間に、栄養士及び調理員が小中学校訪問予定。	継続	
		食育に関する絵画作文等のコンクール	食育の大切さをPRする	小中学校で食育に関する絵画や作文等を募集して表彰する	小中学校	小中学生	愛知県教育委員会(財団法人愛知県学校給食会)による「愛であ朝ごはんコンテスト」に参加。(みよし市から1名入選)	愛知県教育委員会(財団法人愛知県学校給食会)による「愛であ朝ごはんコンテスト」に参加予定。	継続	
		食育だよりの発行	食育に関する情報を発信する	園児の各家庭に食育に関係するたよりを発行する	保育園幼稚園	園児の保護者	栄養士による食育便りを毎月発行。	栄養士による食育便りを毎月発行。	継続	
		学校給食センター見学試食会	学校給食への関心と理解を深める	給食センターで給食ができるまでを見学し、その日に調理された給食を試食する	学校給食センター	園児・小中学生の保護者・市民	広報で公募し15名の市民が見学と給食の試食に参加。	広報で公募し20名(予定)の市民が見学と給食の試食会実施予定。	継続	
		食生活改善推進協議会育成事業	地域で活動する食生活改善推進員を育成する	食生活改善のための自主事業の研修会や勉強等を支援する	健康推進課	食生活改善推進員	随時、研修会や勉強会の開催を支援。	随時、研修会や勉強会の開催を支援。	継続	
		NPO・ボランティア団体への情報提供	NPO・ボランティア活動を活性化する	NPO・ボランティア団体への食育に関する情報を提供する	産業課健康推進課	NPOボランティア	食生活改善推進協議会への情報提供を随時実施。	食生活改善推進協議会への情報提供を随時実施。	継続	
		産業フェスタでの食育啓発	食育に関する情報提供や関係者の交流を図る	産業フェスタで食育コーナー設置し、食育に関する情報提供や交流を行う	産業課	市民等	産業フェスタで食生活診断を実施。	産業フェスタで食生活診断を実施。	継続	
		総合福祉フェスタ	食育に関する情報提供や関係者の交流を図る	総合福祉フェスタで食育コーナーを設置し、食育に関する情報提供や交流を行う	健康推進課	市民等	食生活改善推進協議会の協力で「楽しく食育」のコーナーを実施。コーナー来場者254名。	食生活改善推進協議会の協力で「楽しく食育」のコーナーを実施予定。	継続	
		ホームページに献立掲載	食育に関する情報を提供する	小中学生用の献立表・食物カレンダー・アレルギー表・材料表をホームページに掲載し、情報提供を行う	学校給食センター	市民等	小中学生用の献立表・食べ物カレンダー・アレルギー表・材料表・保育園用献立表をホームページに掲載。	小中学生用の献立表・食べ物カレンダー・アレルギー表・材料表・保育園用献立表をホームページに掲載。	継続	
		健康推進課健診・相談・教育事業	食育に関する情報を提供する	食育啓発資材の配布や掲示を行う	産業課健康推進課	市民等	各種イベント等で食育啓発資材等の配布を行っている。	各種イベント等で食育啓発資材等を配布予定。	継続	
す提⑤ め供食 まや育 す普に 及関 啓す 発る を情 す報	朝食コンテスト	朝食の役割、大切さについて関心をもってもらい、コンテストを通して家族や地域のコミュニケーションを図る	早くておいしい簡単朝食メニューの募集・審査・表彰を行う	愛知県	小学生	11/29に、地元の旬の食材を取り入れながら、家族で美味しく食べる「アイデア朝ごはん」の献立づくりや調理などを通して、親子で望ましい食生活について一緒に話し合ったり、家族の絆を深め合ったりすることを目指して開催した。	平成27年11月22日実施予定。詳細については検討中。	継続		

基本目標	基本施策	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	実施内容等			
							①H26年度実績	②H27年度計画	今後の事業の方向性	方向性で「その他」を選択した場合、その具体的な内容
1 (人づくり)	⑤食育に関する情報提供や普及啓発をすすめます	広報による食育の啓発	食育の普及啓発を図る	広報を通して食育に関する情報を提供する	産業課 健康推進課	市民等	毎月広報1日号で「我が家de食育」を掲載し、食育に関する情報提供を行う。 給食センター、市民病院管理栄養士、食生活改善推進協議会等の協力を得て実施。	毎月広報1日号で「我が家de食育」を掲載し、食育に関する情報提供を行う。 給食センター、市民病院管理栄養士、食生活改善推進協議会等の協力を得て実施予定。	継続	
		食育推進協力店の拡大	食品関係事業所との連携を図り食育を普及する	市内食品関連事業所に食育推進の協力を得て食育の啓発活動を行う	愛知県 食品関連事業所 産業課	市民等	随時、啓発、新規加入店舗なし。	啓発等を実施予定。	継続	
		ホームページで食育推進	食育に関する情報を提供する	ホームページで食育に関する情報提供を行う	産業課 健康推進課	市民等	食育ホームページを年間6回更新し、食育に関する情報提供を実施。	食育ホームページを年間複数回更新し、食育に関する情報提供を実施予定。	継続	
		食育啓発資材の作成	食育の普及啓発をすすめる	横断幕、のぼり旗、パンフレットなど啓発資材を作成し啓発する	産業課	市民等	啓発資材として、ティッシュ、クリアファイルを各イベント、窓口で配布。 懸垂幕を庁舎に掲出し、6月の食育月間を啓発。	啓発資材として、ティッシュ、缶バッジを各イベント、窓口で配布。 懸垂幕を庁舎に掲出し、6月の食育月間を啓発。	継続	
		食育推進活動に対する支援	食育推進への連携協力と支援を行う	食育推進活動を行う団体等に補助金等の支援を行う	産業課	団体等	農業団体、JA等の食育活動にみよしの農業ふるさと活性化推進協議会事業補助金で支援。	農業団体、JA等の食育活動にみよしの農業ふるさと活性化推進協議会事業補助金で支援。	継続	
		食育に関する調査	食生活の実態を調査する	教育状況調査の中で食育に関する調査、健康みよし21の中で食育に関するアンケート調査、食育推進計画に関するアンケート調査を実施する	小学校 健康推進課 産業課	市民等	第2次食育推進計画の基本目標別の取り組み状況に関する調査の実施(産業課)。 健康みよし21の最終評価と次期計画策定のためのアンケートを実施。(健康推進課)	第2次食育推進計画の基本目標別の取り組み状況に関する調査を実施予定(産業課)。	継続	
2 (健康づくり)	①バランスの取れた食生活の大切さを伝えます	給食献立から栄養指導	3色の食品群に興味をもたせる	給食の献立を紹介し、給食には何が入っているか3色に分類して確かめさせる	保育園 幼稚園	園児	毎月、給食献立表にて成分と働きを色分けし子どもに指導。 給食成分表を掲示し、園児に紹介。 毎月の献立に3色の食品群を記載し、保護者へ配布。(三好文化幼稚園)	毎月、給食献立表にて成分と働きを色分けし子どもに指導。 給食成分表を掲示し、園児に紹介。 毎月の献立に3色の食品群を記載し、保護者へ配布。(三好文化幼稚園)	継続	
		家庭への献立表の配布	給食内容の情報提供と給食に対する興味・関心をもたせる	給食の献立表を各家庭に配布する	保育園 幼稚園 小中学校	園児・小学生の保護者	毎月給食の献立表を各家庭へ配布。	毎月給食の献立表を各家庭へ配布。	継続	
		保育参観での給食の紹介	給食に対する興味・関心をもたせる	保護者に給食の状況を見せ、毎月配布している献立表や成分表の内容を説明し、食に関心をもってもらう	保育園 幼稚園	園児の保護者	給食献立を玄関ロビーに掲示し食材に関心を持ってもらう給食参観の実施。	給食献立を玄関ロビーに掲示し食材に関心を持ってもらう給食参観の実施。	継続	
		小学3年生への栄養指導授業	給食を活用して食に関する栄養指導を行う	小学校3年生の全学級で、栄養教諭、学校栄養職員が参加しての授業を実施する	小学校	小学3年生	各学校の年間指導計画に位置づけて実施。	各学校の年間指導計画に位置づけて実施。	継続	

基本目標	基本施策	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	実施内容等			
							①H26年度実績	②H27年度計画	今後の事業の方向性	方向性で「その他」を選択した場合、その具体的な内容
2 (健康づくり)	① バランスの取れた食生活の大切さを伝える	我家の献立作り	バランスのとれた食生活を提案する	栄養バランスのとれた食事の献立を立てて家庭に紹介する	食育推進ボランティア健康推進課	市民等	広報等で紹介。相談があった人には個別に対応。	広報等で紹介。相談があった人には個別に対応。	継続	
		食生活のバランスチェック	日頃の食事のバランスを確認する	食事バランスチェックシートを利用し、自分の食事内容を確認する	食育推進ボランティア健康推進課	市民等	産業フェスタで食生活診断を実施。参加者154名	産業フェスタで食生活診断を実施予定。	継続	
		生活創造講座(料理)	調理実習を通して、食に対する知識を高める	年代や性別にあわせた調理実習を行う	生涯学習課	市民	子育て中の人を応援する料理講座を実施し、託児申込み者を優先受講とした。簡単！ヘルシースイーツ作り 実施日:11/13 参加者16人	昨年度の内容を参考に検討中。	継続	
	② 望ましい食習慣を身に付け、生活習慣病を予防します	むし歯予防教室、わんぱく教室等	子どものむし歯を予防する	1・2歳児と保護者、保育園児、子育てサークル参加者、わくわくからだ探検隊(小学生)参加者を対象にむし歯予防に関する講話と歯みがき指導を行う	健康推進課	1・2歳児と保護者 園児 小学生	むし歯予防教室(1歳児対象)を毎月1回、わんぱく教室(2歳児対象)を隔月に実施。随時教室を実施。	むし歯予防教室(1歳児対象)を毎月1回、わんぱく教室(2歳児対象)を隔月に実施。随時教室を実施。	継続	
		園児への歯みがき指導	子どものむし歯を予防する	医師や歯科衛生士による歯科検診、歯みがき指導、虫歯予防に関する紙芝居を行う	保育園幼稚園健康推進課	園児	歯科検診の実施。(各園)健康推進課歯科衛生士が園児の歯みがき指導を実施。	歯科検診の実施。(各園)健康推進課歯科衛生士が園児の歯みがき指導を実施。	継続	
		健康診断、健康診査	子どもの肥満を予防する	乳幼児や園児、児童、生徒の健康診断等の結果により肥満予防の指導を行う	保育園幼稚園小中学校健康推進課	乳幼児 園児 小中学生	健康診断を実施し保護者へ報告。 乳幼児健診や育児相談において、身体計測や栄養指導を実施。計測値を成長曲線で保護者と確認し、健やかな発育を促している。(健康推進課)	健康診断を実施し保護者へ報告。 乳幼児健診や育児相談において、身体計測や栄養指導を実施。計測値を成長曲線で保護者と確認し、健やかな発育を促している。(健康推進課)	継続	
		個別懇談会の開催	食生活の実態を把握し改善する	園児の食事の様子を伝えたり、保護者からの相談にこたえ、食育についての情報を提供する	保育園幼稚園	園児の保護者	「給食頑張り表」で園児の食事量を保護者へ伝える。保護者の希望に応じ、食生活相談を実施し、アレルギー対応も行う。試食会の際に アンケートを実施。	「給食頑張り表」で園児の食事量を保護者へ伝える。保護者の希望に応じ、食生活相談を実施し、アレルギー対応も行う。試食会の際に アンケートを実施。	継続	
		フッ化物洗口	子どものむし歯を予防する	小学校で希望者にフッ化物洗口を実施する	小学校	小学生	通年、市内全小学校で週1回実施。	通年、市内全小学校で週1回実施。	継続	
		夏休み朝食スタンプカード	規則正しい食生活の推進を図る	夏休み中、小学生に朝食をきちんととるようにスタンプカードを発行し親子でチェックする	小学校	小学生	長期休みに行う生活習慣のチェック表で喫食の様子をチェックする。	長期休みに行う生活習慣のチェック表で喫食の様子をチェックする。	継続	
		健康教育	歯の大切さと食生活の大切さの意識向上を図る	歯周病予防や摂食等に関する講話とブラッシング指導を行う	健康推進課	教室受講者 老人クラブ等	随時、健康教室で講話やブラッシング指導を実施。	随時、健康教室で講話やブラッシング指導を実施。	継続	
健康診断にもとづく食生活の改善指導	生活習慣病を予防する	健康診断の結果に基づき病院の管理栄養士が食生活の改善を指導する	市民病院	健康診断受診者	健康診断結果に基づき、指導対象者に改善指導を実施。	健康診断結果に基づき、指導対象者に改善指導を実施。	継続			
保健対策推進協議会活動	疾病の予防、健康の保持増進を図る	保健対策推進協議会で疾病予防、健康の保持増進、健康づくりについて審議・企画を行う	保健対策推進協議会健康推進課	市民等	11月、3月に会議を開催。	年3回会議を開催予定。	継続			

基本目標	基本施策	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	実施内容等			
							①H26年度実績	②H27年度計画	今後の事業の方向性	方向性で「その他」を選択した場合、その具体的な内容
2 (健康づくり)	③食の安全について関心を高めます	食物アレルギーへの対応	アレルギーのある園児、児童、生徒も安心して食事ができるようにする	成分表を作成し、食物アレルギーの園児、児童、生徒に適切に対応する	学校給食センター	園児 小中学生	アレルギーを持つ園児の保護者向けに 毎月献立表に アレルギー表示や 卵・牛乳製品の使用比率に記載して その上で電話等の相談に 栄養士と看護師が対応している。アレルギー対応者事前説明会を毎年3月に実施、アイコメディカル社担当者が対応し、除去食を実施。(みよし文化幼稚園)	アレルギーを持つ園児の保護者向けに 毎月献立表に アレルギー表示や 卵・牛乳製品の使用比率に記載して その上で電話等の相談に 栄養士と看護師が対応している。アレルギー対応者事前説明会を毎年3月に実施、アイコメディカル社担当者が対応し、除去食を実施。(みよし文化幼稚園)	継続	
		給食献立表に食の豆知識を掲載	食の安全に関する知識を高める	給食の献立表の中に食の安全に関する豆知識を掲載する	保育園 小中学校 学校給食センター	小中学生	給食の献立表の中に、食に関する豆知識を毎月掲載。	給食の献立表の中に、食に関する豆知識を毎月掲載。	継続	
		食品表示制度の啓発	食の安全安心に関する知識と理解を深める	食品表示制度に関するパンフレットを配布する	愛知県産業課	市民等	品質表示基準遵守状況調査を13件(11月)行い、必要に応じてパンフレットを使って食品表示制度について説明を行った。	品質表示基準遵守状況調査を実施し、必要に応じてパンフレットを使って食品表示制度について説明予定。(実施時期及び件数は未定。)	継続	
		食生活改善推進員養成教室	食の安全性に関する関心を高める	食の安全に関する講話を実施する	健康推進課	食生活改善推進員養成教室受講者	食生活改善推進員養成教室において、食の安全に関する講話を実施。	食生活改善推進員養成教室の実施なし。	継続	
		食品衛生講習会	食の安全に関する意識を高める	食品衛生管理に関する講演・講習会に参加する	愛知県商工会食品衛生協会	食品衛生関係者	①7/9、10/15に食品業者向けの衛生講習会実施。(参加者282名) ②10/8に衛生責任者養成講習会を実施。(参加者41名) ③11/19にノロウイルスによる食中毒予防講習会を実施。(参加者25名)	昨年同様に、食品関係業者向け衛生講習会2回(7/15)、衛生責任者養成講習会1回(10/14)、ノロウイルスによる食中毒予防講習会を1回、開催予定。	継続	
		摂取栄養量・栄養基準量の表示	栄養成分表示の関心を高める	献立表に月の平均栄養価や栄養基準量を掲載する	学校給食センター	小中学生の保護者	毎月配布している献立表に、月の平均栄養価、摂取基準を掲載。	毎月配布している献立表に、月の平均栄養価、摂取基準を掲載。	継続	
		GAPの普及啓発	食の安全性を高める	農産物の生産においてより高い安全性等を確保するための工程管理であるGAP手法の普及啓発を行う	愛知県産業課	生産者	JAあいち豊田イチジク部会において、GAP手法を実践している。	JAあいち豊田イチジク部会において、GAP手法を実践していく。	継続	
		飲食店の栄養成分表示の推進	栄養成分表示の関心を高める	飲食店の料理メニューに栄養成分の表示を実施する	愛知県商工会産業課	飲食店他	随時、指導、啓発を実施。	啓発等を実施予定。	継続	
		農林物資の品質表示基準遵守調査	JAS法の規定に基づき定められている品質表示基準の遵守状況を調査し表示の適正化を図る	管轄区域内の店舗や事業所を訪問し、品質表示基準遵守状況調査票により行う	愛知県	店舗・事業所	品質表示基準遵守状況調査を13件(11月)実施。	品質表示基準遵守状況調査を実施予定。(実施時期及び件数は未定。)	継続	
3 (環境づくり)	活①環境をすすめ、暮らしやすい食生活	エコファーマーの育成	環境にやさしい農業を推進する	有機物の施用や化学肥料、化学合成農薬を減らす環境にやさしい農業に取り組む農家を育成する	愛知県産業課	農産物生産者	平成27年3月末現在で、34名が認定。平成26年度中の新規認定者は無し。	環境にやさしい農業に取り組む未認定農家に対し認定促進をする。	継続	
		消費生活塾	環境にやさしい食生活を推進する	料理教室や食用廃油を利用した石鹸づくりを行う	産業課	消費生活塾会員	廃食用油を利用した石鹸づくりを行い、産業フェスタみよしにおいて販売・PRを行った。	廃食用油を利用した石鹸づくりを行い、産業フェスタみよしにおいて販売・PRを実施予定。	継続	
		残菜を生ごみ処理機で堆肥化	農業生産における環境への配慮を行う	残菜を生ごみ処理機で攪拌させ、粉末にして田や畑の肥料とし環境にやさしい利用をする	学校給食センター	農業団体 農家等	残菜を生ごみ処理機に入れ、おがくずと醗酵促進剤をまぜて攪拌し、畑等の肥料とし再利用する。	残菜の処分は食品リサイクル及び大量調理場敷地内の衛生の観点により、畜産業者による豚の飼料として処分する。	その他	生ごみ処理機が経年劣化により平成26年度末で稼働終了となったことによる処分方法の変更。

基本目標	基本施策	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	実施内容等			
							①H26年度実績	②H27年度計画	今後の事業の方向性	方向性で「その他」を選択した場合、その具体的な内容
3 (環境づくり)	す活さ① すやし環 め活い境 ま動食に すを生や	給食事業における食品リサイクル	食品リサイクルを行う	給食で使用した揚物油を動物の飼料として再利用する	学校給食センター	事業者	業者が給食で使用した揚物油を引き取り、動物の飼料として再利用する。	業者が給食で使用した揚物油を引き取り、動物の飼料として再利用する。	継続	
	② 地産地消をすすめます	地元農産物の啓発	地産地消を推進する	チラシ等により地元農産物や販売場所をPRする	JAあいち豊田産業課	市民等	グリーンステーション三好でチラシ等により地元農産物のPR及び販売を実施。 平成26年9月13日フルーツフェスタを開催。	グリーンステーション三好でチラシ等により地元農産物のPR及び販売を実施。 平成27年8月2日フルーツフェスタを開催予定。	継続	
		給食センターでの地元農産物の使用とPR	地元農産物の利用促進やPRを行う	給食の献立に愛知県産、みよし産の米や野菜などの食品を指定し、利用促進やPRを行う	学校給食センター	小中学生保護者	給食で使用する食材にみよし市産や県内産の食材を使用し、献立表に掲載。 月5回程度「ひとくちメモ」として、放送用原稿を作成し、給食時間に校内放送で啓発。 毎月19日の食育の日に愛知県産の旬の食材を使用した献立を実施し献立表に紹介を掲載。	給食で使用する食材にみよし市産や県内産の食材を使用し、献立表に掲載。 月5回程度「ひとくちメモ」として、放送用原稿を作成し、給食時間に校内放送で啓発。 毎月19日の食育の日に愛知県産の旬の食材を使用した献立を実施し献立表に紹介を掲載。	継続	
		地元農産物の販売	地元農産物の販売により地産地消を推進する	JAあいち豊田三好産直センター、グリーンステーション三好で地元農産物の販売やPRを行う	JAあいち豊田	市民等	JAあいち豊田三好産直センター・グリーンステーション三好において地元農産物のPR及び販売を随時実施。 平成26年9月13日フルーツフェスタを開催。	JAあいち豊田三好産直センター・グリーンステーション三好において地元農産物のPR及び販売を随時実施。 平成27年8月2日フルーツフェスタを開催予定。	継続	
		産業フェスタ	地元農産物の消費拡大とPRを行う	毎年11月の第1日曜日にイベントとして開催し地元農産物の直売やPRを行う	産業フェスタみよし実行委員会 さんさんの郷	市民等	平成26年11月2日産業フェスタで地元農産物の直売・PRを実施。	平成27年11月1日産業フェスタで地元農産物の直売・PRを実施予定。	継続	
		炊きたてご飯の試食会	みよし産のお米のおいしさを知ってもらい地元産米の消費拡大を推進する	市内のイベントや店頭で炊きたての白米を試食して米本来の味を知ってもらう	JAあいち豊田三好営農センター産業課	市民等	平成26年11月2日産業フェスタで地元産のお米「大地の風」のおにぎりの試食しておいしさを知ってもらい消費の拡大を図った。	産業フェスタ等のイベントで地元産のお米の試食をしておいしさを知ってもらい消費の拡大を図る。	継続	
		地産地消への支援	地産地消の推進を支援する	地産地消を推進する団体に助成金等の支援を行う	産業課	農業団体	農業団体、JA等の食育活動にみよしの農業ふるさと活性化推進協議会事業補助金で支援。	農業団体、JA等の食育活動にみよしの農業ふるさと活性化推進協議会事業補助金で支援。	継続	
		地産地消の啓発	地産地消を促進する	地元農産物を使用した学校給食の献立をホームページ等で紹介する	学校給食センター	市民 小中学生	献立表に「今月の地場産物」、「旬の食材」を掲載 献立表をホームページにも掲載。	献立表に「今月の地場産物」、「旬の食材」を掲載 献立表をホームページにも掲載。	継続	
		産直に関する研修会	地元農産物の生産販売を促進する	生産販売に必要な知識習得のための講習会の実施や先進地視察を実施する	JAあいち豊田産直部会	農産物生産者	農産物の生産販売に必要な知識習得のための講習会を実施。(1回以上)	農産物の生産販売に必要な知識習得のための講習会を実施予定。(1回以上)	継続	

基本目標	基本施策	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	実施内容等		
							①H26年度実績	②H27年度計画	今後の事業の方向性

★計画書に無い新規事業・活動

1 (人づくり)	育対を① てす身の食 まるにの正 す感付けし の、い食知 心食知をに識	食育出前授業・講演会	小中学生の食生活に対する 関心を高める	食に関係した企業等から講師を招き、出前 授業や講演会を行う	小中学校 関係機関	小中学生	名古屋グランパスの栄養士を講師に招き、食 育講演会の実施(小・中学校)明治乳業から 講師を招き、出前授業の実施。(小学校)	名古屋グランパスの栄養士を講師に招き、食 育講演会の実施予定(小・中学校)明治乳業 から講師を招き、出前授業の実施予定。(小 学校)	継続	
	ま大の② す切場楽 さづしい をくい食 えの事	バッククッキング体験	災害時にも活用できるパッ ククッキングを体験してもら う	高密度ポリエチレン袋を使用した真空調理 を体験する	食生活改善 推進協議会	市民	11月14日に1回教室を開催。	11月13日(金)開催予定。	継続	
3 (環境づくり)	す② 地産 地消を すす めま	ふれあい農業見学会	地元農家の活動を知っても らい、地産地消を促進する	普段は見られないJAの農業施設を見学・体 験する	グリーンステーション三好	市民等		8/8(土)定員40人、市民対象。(無料) 鮮果場、営農センターの見学、梨のもぎ取り、カ ントリーエレベーターの見学。	継続	
		みよし軽トラ市	地元農産物の消費拡大とP R	地元の新鮮な農産物を生産者自ら消費者 に販売し、農産物の新たな魅力を知っても らう	みよし軽トラ 市実行委員 会 緑と花のセン ター	市民等		さんさんの郷駐車場において、軽トラ市を3回 程度試行実施する。	継続	